取扱説明書番号
D088-CGXZ

CITIZEN®

電波時計（デジタル目覚まし時計）取扱説明書

～ 製品の特長 ～

●標準電波を受信してカレンダーと時刻を自動修正
●温度・湿度・注意報を表示

お買い上げいただきありがとうございます。
お使いになる前にこの取扱説明書をよくお読みのうえ、正しくお使いください。
お読みになった後もお手元に保管して、必要に応じてご覧ください。

発売元 **リズム時計工業株式会社**
〒330-9551 埼玉県さいたま市大宮区北袋町1丁目299番12
http://www.rhythm.co.jp

(Y1108)

CITIZENはシチズンホールディングス株式会社の登録商標です。

GUARANTEE
保証書

取扱説明書にそった正常な使用状態において、万が一保証期間内に故障がおきた場合、本保証書を添えて時計お買い上げの販売店にご持参くだされば、無料修理・調整いたします。尚、本保証書の発行によりお客様の法律上の権利を制限するものではありません。この保証書は、お買い上げ店で発行いたします。必ず※印欄の記入・捺印をお確かめのうえ大切に保管してください。保証書は再発行いたしません。

※品名・型番　8RZ121

※保証期間　お買い上げ　年　月　日より　1年間

お客様　ご氏名　様

ご住所

TEL（　）　－

※販売店印（所在地、店名、電話番号）

※印は販売店記入

アフターサービスについて

この時計のアフターサービスは、お買い上げ販売店がいたします。次の記載事項と保証書をよくお読みの上、ご利用ください。

●修理部品の保有について
この時計の修理用性能部品（電子回路など）は製造打ち切り後、３年間を基準に保有しています。ただし、外装部品（ケース類）の修理には、類似代替品の使用、または現品交換で対応させていただくことがあります。

●修理可能期間について
無料保証期間が過ぎても、この時計の性能部品保有期間中は、原則として有料修理が可能です。ただし、修理には販売店と修理工場の往復運賃・諸掛り費用も加わり、商品により修理代金が高額になる場合がありますので、販売店とよくご相談ください。

●転居または贈答品の場合
転居または遠隔地からの贈答品で、お買い上げ販売店でのアフターサービスが受けられない場合は、お客様相談室にご相談ください。保証期間中の場合は、販売店の保証書が必要です。

お問い合わせ先　お客様相談室　0120-557-005
（フリーダイヤル）
受付時間 9:00 ～ 17:00（土日、祝日および当社休日を除く）
お問い合わせに際しては、製品番号（型番）「8RZ121」をお伝えください。

●部品の保有期間などアフターサービスについては、取扱説明書に記載してあります。
●この保証書は国内のみ有効です。This guarantee is valid only in Japan.
●ご記入いただきました個人情報は、時計の修理・調整に関するご連絡に利用させていただきます。

■販売店の方へ
この保証書は、お客様へのアフターサービスの実施と責任を明確にするためのものです。ただし、貴店で別に保証書を発行する場合は、この限りではありません。

保証について

■次のような場合には、保証期間中でも有料修理になりますので、ご注意ください。
1. 保証書のご提示がない場合。
2. 保証書の※欄に記入・捺印のない場合、字句を書きかえられた場合。
3. お買い上げ店以外の販売店にご依頼の場合。
4. お客様のお手元に渡ってからのお取り扱いや輸送での落下など異常な衝撃による故障または損傷。
5. 天災・火災または異常な塩分・酸・蒸気・熱・有毒ガスなどの影響による故障、または損傷。
6. お客様による修理･改造などが原因で故障した場合。
7. ご使用中に生じる外観上の変化（ケース、ガラスなどの小キズ）
8. 電池の交換

※ 送料･出張料は、実費をいただきます。

安全にお使いいただくためにはじめにお読みください

ここに示した注意事項は、あなたや他の人への危害や損害を未然に防ぐためのものです。必ず守ってください。
誤った取り扱いをした場合に生じる危険とその程度を、２つの区分で説明しています。

⚠ 警告 死亡または重傷などを負う可能性が想定される内容
⚠ 注意 傷害を負う可能性または物的損害のみが発生する可能性が想定される内容

⚠ 警告

必ず守る
誤飲を防止するため、小さな部品や電池は、幼児の手の届く所に置かない
万一、飲み込んだ場合は、すぐに医師の治療を受けてください。

禁止
電池からの液もれや発熱、破裂を防止するために、次のことを守る
●電池をショートさせない。　●電池に傷をつけたり、分解したりしない。
●電池を充電しない。　●電池を加熱したり、火の中に入れたりしない。

電池から液もれが起きてしまったときは、素手でさわらない
●電池からもれた液が目や皮膚についたら、すぐに水道水でよく洗い流して医師の治療をうけてください。衣服に付着した場合は、すぐに水道水で洗い流してください。アルカリ乾電池の場合、失明や炎症などの障害が発生する危険性が高くなります。
●ゴム手袋をして電池をはずし、もれた液を布や紙でよくふき取ってください。修理が必要なときは、お買い上げの販売店または当社お客様相談室にご相談ください。

禁止
濡れた手でAC電源アダプターに触れない
感電の原因になります。

浴室やサウナ、温室など、高温・高湿になるところでは使わない
感電やさびの発生、故障の原因になります。

禁止
ケーブルを傷つけたり、無理に曲げたり、重いものを載せたり、挟み込んだりしない
ケーブルが破損して、感電や火災の原因になることがあります。

禁止
AC電源アダプターやケーブルが傷んだときは使用を中止する
そのまま使用すると、感電や火災の原因になります。

必ず守る
時計やAC電源アダプターから発熱・煙・異臭などがするときには、直ちにAC電源アダプターをコンセントから抜く
そのまま使用すると感電・火災の原因になります。

必ず守る
ACプラグおよびコンセントの差し込み口のほこりを定期的にとる
ほこりがたまると、絶縁不良となり、火災の原因になります。

禁止
AC電源アダプターを接続するときは、コンセントや配線機器の定格を超える使いかたや、100V 以外では使用しない
定格を超えて使うと、発熱や火災の原因になります。

雷が鳴り出したら、時計や電源プラグにふれない
感電の原因になります。

分解禁止
分解したり改造しない
火災や感電、故障の原因になります。

⚠ 注意

必ず守る
電池の⊕⊖を正しく入れる
液もれや発熱、破裂の原因となり、故障やけがの原因になります。

必ず守る
使い切った電池は、すぐに取り出す
電池からの液もれにより、故障や破損の原因になります。

必ず守る
落としたり、たたいたりして衝撃を与えない
故障や破損の原因になります。

プラグを抜く
長期間使用しないときは、AC電源アダプターの電源プラグを抜く
絶縁劣化やろう電により、火災の原因になります。

必ず守る
長期間使用しないときは、電池を取り出す
電池からの液もれにより、故障の原因になります。

■使用場所について

禁止
下記のような場所では使わない
品質や精度の低下、部材の変形、劣化、故障の原因になります。

●直射日光が当たる所。　●温度が+50℃以上の所。
●温度が−10℃以下の所。　●ほこりが多く発生する所。
●強い磁気が発生する所。　●車中や船舶、工事現場など、振動の激しい所。
●プールや温泉場など、ガスの発生する所。　●調理場など多くの油を使用する所。
●ゴムや軟質のポリ塩化ビニルに長い間、直接ふれさせておくと、色移りや付着、変質をすることがあります。

電池のご注意　（電池の正しい使いかた）

電池のご使用上のポイント　正しく使って事故をなくしましょう

●プラス（+）、マイナス（−）を間違えない。　●古い電池と新しい電池を混ぜない。
●種類の異なる電池を混ぜない 。　●時計が動いていても定期的に交換する。
●長期間使用しないときは電池を取り外す。　●時計が止まったらすぐに電池を取り外す。
●電池に表示されている使用推奨期間内に使う。　●電池を新しくするときは、全部取り替える。
●幼児の手が届かない所に置く 。

電池の種類について

●アルカリ乾電池とマンガン乾電池は形状的に互換性があり、一般にアルカリ乾電池のほうが長持ちします。**アルカリとマンガン乾電池の混在使用は、液もれの原因となりますのでおやめください。**
●一般に充電式の電池は電圧が低く、時計には不向きですので使用しないでください。
●一部の高性能電池では、初期電圧が高く時計には不向きなものがあります。
（例 . Panasonic オキシライド乾電池）

電池の寿命について

●付属の電池は、工場を出荷するときに入れていますので、製品仕様より短い期間で電池切れになることがあります。
●使用環境の温度などにより、製品仕様より電池寿命が短くなることがあります。
●買い置きの電池を使用した場合、保管状態や乾電池に示されている「使用推奨期限」により、電池寿命が短くなることがあります。

電池、時計の廃棄

●お住まい地区自治体の指定に従ってください。
●電池を取り外してください。

お手入れについて

●汚れがひどいときは、水でうすめた中性洗剤や石けん水を、やわらかい布に少量つけてふき取り、その後、からぶきしてください。
●ケースなどのよごれ落としに、ベンジン、シンナー、アルコール、スプレー式クリーナー類は、使用しないでください。

おもな製品仕様

使用温度範囲	−10 ～ 50℃ *結露しないこと 液晶表示可読温度範囲0～40℃
時間精度	標準電波受信成功直後の表示精度　±1秒 標準電波を受信しない場合 平均月差 ±30 秒 （常温中のクオーツ精度）
使用電源	AC電源アダプター
定格入力電圧	AC 100V、50/60 Hz　10VA
定格出力電圧	DC 4.5V
定格出力電流	200mA
停電補償電池	単4形マンガン乾電池 JIS規格 R03　3個
電池寿命	約8ヵ月 *1日当たりアラームを30秒、照明6秒使用
電池交換時期お知らせ機能	あり　電池マーク表示
標準電波	標準電波受信により自動時刻修正
受信局	福島局 / 九州局　自動選択
受信ON／OFF	ボタン操作で切り替え可能
受信回数	8回 / 日
受信開始時刻	1時～4時、13時～16時の各時間帯の16分40秒から受信開始
時刻表示形式	12時間 /24時間表示切り替え
アラーム機能	設定時刻にアラームが鳴る
アラーム精度	表示時刻に対して ±0秒
アラーム音	電子音（鳴り方が変化）
スヌーズ機能	あり（止めてもまた鳴る）
オートストップ機能	あり（自動停止）
カレンダー	2010 ～ 2099 年まで対応
温度表示	表示範囲　−9.9 ～ +50℃ 測定範囲での精度　±2℃
湿度表示	表示範囲　20 ～ 95%RH ㈱ （温度が5～50℃の範囲にあるとき） 測定範囲での精度　±10%RH
照明機能	液晶表示部　白色LED 電池のみで使用したときは、スヌーズボタンを押すと約3秒間照明
明るさ調節機能	なし

㈱%RHは相対湿度の単位です。天気予報などでは、単に%を用いることが多いです。

*電池寿命は、AC 電源アダプターを使用しないで、電池単独で使用したときのものです。
※液晶はその特性上、0℃以下になると表示反応が遅くなり、表示が薄くなることがあります。40℃以上になると表示が濃くなったり、ムラになったりすることがあります。
※液晶表示板は5年を過ぎると、コントラストが低下して数字が読みにくくなることがあります。
※製品仕様は、改良のため予告なく変更することがあります。

付属品
AC電源アダプター　1個　単4形マンガン乾電池　3個　取扱説明書・保証書　本書

電波時計について

電波時計とは

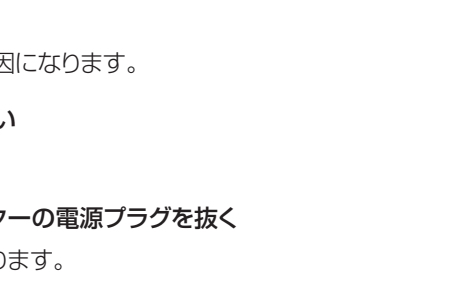
電波時計は、正確な時刻およびカレンダー情報をのせた標準電波を受信することにより、自動的に表示時刻を修正して、正確な時刻をお知らせする時計です。

標準電波とは

標準電波(JJY)は、日本標準時(JST)をお知らせするために、情報通信研究機構が運用している電波です。
※標準電波の時刻情報は、およそ10万年に1秒の誤差という「セシウム原子時計」によるものです。
標準電波送信所は、福島県の「福島局：おおたかどや山標準電波送信所」と佐賀県と福岡県の県境にある「九州局：はがね山標準電波送信所」の2ヵ所にあります。

電波の受信範囲について

送信所から約1200km離れた場所でも受信可能です。ただし、受信範囲であっても電波障害(太陽活動、季節、天候、置き場所、時間帯（昼／夜）あるいは地形や建物の影響など）により、受信できないことがあります。



この時計は福島局と九州局に対応しており、標準電波を自動選択して受信します。

※標準電波の詳細については、情報通信研究機構のホームページをご覧ください。 (http://jjy.nict.go.jp)

海外でのご使用について

この時計は、日本のAC100V電源を使用することを前提にしています。また、日本以外の標準電波は受信できませんので、**日本以外では使用しないでください。**

標準電波の送信停止について

送信所の定期点検や落雷などの影響により、標準電波の送信が停止することがあります。標準電波の送信状況については「情報通信研究機構」のホームページをご覧ください。

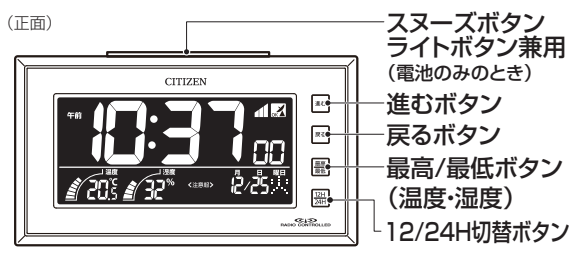
静電気の影響について

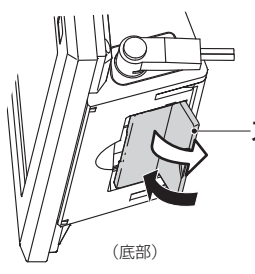
静電気の影響により正常に機能しなくなることがあります。このようなときにはリセットボタンを押してください。

この取扱説明書を許可なく複製、変更することを禁じます。
本製品を使用することによって生じたいかなる支出、損益、その他の損失に対してなんら責任を負いかねますので、ご了承ください。

各部の名称

図は操作説明用ですので、実際の商品と異なることがあります。



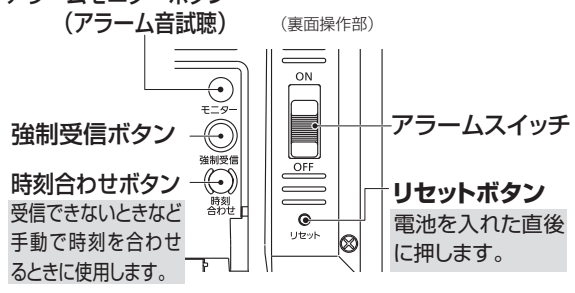


スタンドを引き起こして、表示面の角度を変えることができます。

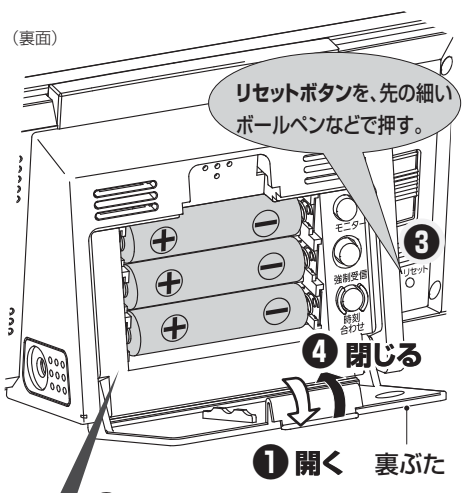
※表示を見る方向により、ムラに見えたり、時刻が読み取れなくなったりします。

※表示の明るさは調節できません。

※転倒を防ぐために、水平で振動の少ない所に設置してください。



1 電波を受信して日時を合わせる



標準電波を利用しないで、手動で時刻を合わせるときには、（手動での時刻合わせ）をお読みください。

電波の受信しやすい窓際などに置いてください。

❶ 裏ぶたを開ける

❷ 電池を入れる

❸ リセットボタンを押す

「ピー」と鳴って、受信マークが点滅し受信を開始します。「ピー」と鳴らないときは、電波受信機能がOFFになっています。

☞（Ⓐ 電波受信機能のON/OFF操作）

◎受信中はボタンに触れないでください。

❹ 裏ぶたを閉じる

❺ 21分待って受信結果を確認する

受信は最長で21分程度行います。

☞【受信の流れと表示】参照

受信成功：受信マーク点灯

受信失敗：受信マーク消灯

使い始めるときには、電池のみで標準電波を受信させて日時を合わせ、そのあとに、AC電源アダプターを接続してください。

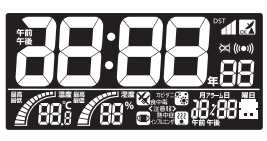
これは、AC電源からの電気的なノイズを受けにくくするためです。

※電池のみでは表示部が常時点灯しません。スヌーズボタンを押すと約3秒間点灯します。

【受信の流れと表示】

電池のみのときは、表示が読み取りにくいので、確認するときはスヌーズボタンを押してください。

リセットボタンを押した直後



〈受信開始〉

※電池を入れた直後およびリセットボタンを押した直後は、2010年1月1日、午前12:00、アラーム時刻は午前6：00に設定されます。

受信マークの変化（電波サーチ機能）

電波の状態により変化します。

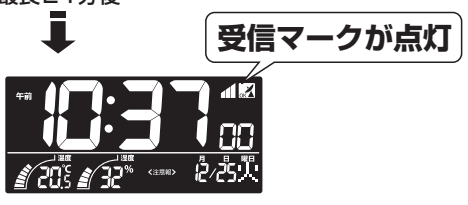
受信できない ⇢ 受信しやすい

チェック！

1 ～2分経過しても①または②の受信状態が続く場合は受信できません。場所を変えて**リセットボタン**を押し、再度受信を開始させてください。

〈受信終了〉

最長21分後



（受信に**成功**したときの表示例）

※受信マークは受信成功後、24 ～25時間点灯。

※受信に成功しても、ノイズにより誤った日時を表示することがあります。このような場合は、リセットボタンを押して、再度受信を試みてください。

（受信に**失敗**したときの表示例）

※受信に失敗した場合は、表示されている日付／時刻は正しくありません。

アドバイス

テレビ、蛍光灯などの家電製品やパソコンなどのOA機器からのノイズにより、電波を受信できない場合や誤った時刻を表示することがあります。このようなときは、場所を変えてからリセットボタンを押し、再度受信を試みてください。

電波受信中のボタン操作について

電波の受信中に**進む**または**戻る**ボタンを押すか、**時刻合わせボタン**を約2秒間押し続けると、受信マークが消灯して受信を中止します。

電波を受信しにくい環境

次のような場所では受信できない場合や誤った日時を表示することがあります。

●工事現場、空港の近くや交通量の多い所など電波障害の起きる所

●金属製の雨戸やブラインドの近く

●ビルの地下など

●高圧線、テレビ塔、電車の架橋近く

●朝夕の時間帯、雨天のとき

●家電製品やOA機器の近く

●スチール机等の金属製家具の上や近く

標準電波を受信できない場合

●朝までそのままにしておく

一般的に、夜間は電波状態が良くなるので、手動で時刻合わせをして一晩そのままにしておくと受信できる可能性が高くなります。

●場所を変える／受信をやり直す

電波の受信しやすい窓ぎわや、取扱説明書の日本地図を参考にして、時計の正面または裏面が電波の送信所に向くように置いて、リセットボタンを押して結果を確認します。

電波を受信できない場合は、下記の操作で日時を合わせてご使用ください。

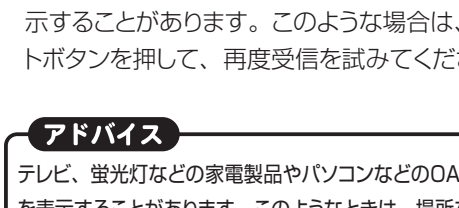
手動での時刻合わせ …… 受信できないときや任意の日時に合わせるとき

操作例を参考にして、西暦年、月、日、時刻（時、分）の順に設定してください。

年月日、時刻（時、分）- ボタン操作

操作例. 2012年12月25日　午前10:37に合わせる

時刻合わせボタン



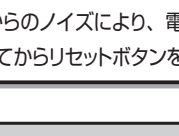
▶**進む**または**戻るボタン**で数値を合わせます。**進む**または**戻るボタン**を押してすぐ離すと、1つ単位に、押し続けると早送りまたは早戻しになります。

▶**時刻合わせボタン**を押すと次のステップに移ります。

① 時刻合わせモードにする

時刻合わせボタンを西暦年が点滅するまで、約2秒間押し続ける。

② 西暦年

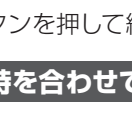


年を**進む**または**戻るボタン**で2012に合わせて、**時刻合わせボタン**を押す。

③ 月

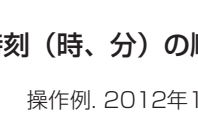
月を**進む**または**戻るボタン**で12に合わせて、**時刻合わせボタン**を押す。

④ 日



日を**進む**または**戻るボタン**で25に合わせて、**時刻合わせボタン**を押す。

⑤ 時



時を**進む**または**戻るボタン**で10に合わせて、**時刻合わせボタン**を押す。

12時間表示のときは、午前 / 午後の表示に注意して合わせてください。

⑥ 分（秒）

分を**進む**または**戻るボタン**で37に合わせる。秒は、**進む**または**戻るボタン**を押すたびに00に設定されます。

⑦ **時刻合わせボタン**を押すと終了します。

●アラーム状態およびアラーム時刻が点滅しているときは、時刻合わせボタンを押しても、切り替わりません。

●約30秒間ボタン操作をしないと、表示されている日時に設定して、手動時刻合わせを終了します。

●電波受信機能が「ON」の場合、手動で時刻合わせをしても、自動受信を行い、受信に成功すると自動的に日時を修正します。

（Ⓐ 電波受信機能のON／OFF操作）参照

●時間精度は、平均月差 ±30秒のクオーツ精度になります。

2 AC電源アダプターの接続

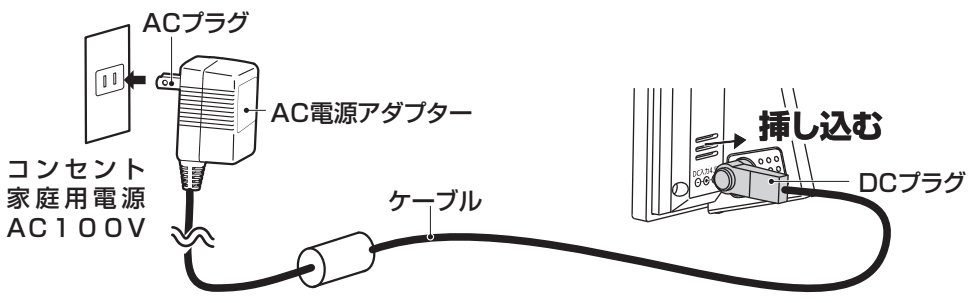
AC電源アダプターを接続してご使用ください。乾電池は、停電対策としてご利用ください。

AC電源アダプターから電力が得られると、液晶表示部を常時照明します。乾電池のみでは、スヌーズボタンを押したときにのみ、約3秒間照明します。

電波を受信しやすくするために、ノイズが発生しやすい家電製品やパソコンなどが、接続されているコンセントを使わないでください。

強制 **必ず付属のAC電源アダプターを使用する**

他のものを使用すると、電波の受信ができなかったり、故障や火災の原因になることがあります。



Ⓠ AC電源アダプターをコンセントから抜いたのに液晶表示部が照明されている。

Ⓐ しばらく放置すると消灯しますが、電池の消耗を防ぐために、時計からDCプラグを抜いてください。

3 電池交換お知らせ機能

⚠ 注意

電池マークが表示されたときは、速やかにすべての電池を交換してください。放置すると電池から液もれが発生して、時計の修理、家具などの修繕に費用が発生することがあります。

※電池がセットされていないときも電池マークが点灯します。

●**AC電源アダプターを使用していても、電池は定期的に交換して液もれを防止してください。**AC電源アダプターと併用したときの交換の目安は、マンガン乾電池　1年に1回、アルカリ乾電池　5年に1回。

4 アラーム機能

アラーム時刻を合わせる

（月日を表示）

進む ——進むボタン

戻る ——戻るボタン

（アラーム時刻表示）

12時間表示のときは、午前 / 午後の表示に注意して合わせてください。

①アラームスイッチをＯＦＦにする

②**進む**または**戻る**ボタンを押す

アラーム時刻が点滅します。

③**進む**または**戻る**ボタンを押してアラーム時刻を合わせる

押してすぐ離す ： 1分単位

押し続ける　　： 早く変わる

※約5秒間ボタン操作をしないとアラーム時刻合わせを終わります。

アラームのON/OFF設定

アラームスイッチON

ON 設定時刻に鳴る

OFF 止める、鳴らさない

アラームスイッチがONのときアラームマーク点灯 (•)

アラームスイッチをONにすると

▶アラームマーク(•) 点灯

▶アラーム時刻が3秒間点滅してから点灯

ON のときは、日付を表示しません。

アラームスイッチをOFFにすると

▶アラームマーク(•) 消灯して月日表示

アラームオートストップ機能（自動鳴り止め）

鳴っているアラームを放置すると約2分間鳴り続けて終了します。

スヌーズ機能　（止めてもまた鳴る）

アラームが鳴っているときに、スヌーズボタンを押すと、アラームマーク (•) が点滅し、アラームが約5分間停止後に鳴り出します。この操作は7回まで繰り返すことができます。8回目にスヌーズボタンを押すとアラームは停止し、アラームマーク (•) は点灯表示になります。

アラーム音の確認方法

アラームモニターボタンを押すとアラームが約2分間鳴ります。途中で止めたいときは、アラームモニターボタンを押すと止まります。

アラームご使用上のご注意

アラームスイッチがONの状態では、ＯＦＦにするまで毎日アラームが鳴ります。

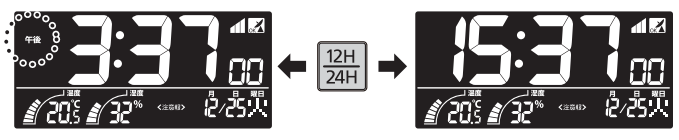
照明表示機能　（電池のみでご使用のときにスヌーズボタンを押す）

スヌーズボタンを押すと約3秒間液晶表示面を照明します。

5 時刻表示形式の切り替え

12/24H切替ボタンを押すと時刻の表示形式が切り替わります。

午前 / 午後付12時間表示　⇄　２４時間表示



表示の切り替えは電波の受信中、アラーム状態、アラーム時刻および現在時刻の設定中は切り替わりません。

6 温度・湿度・注意報表示

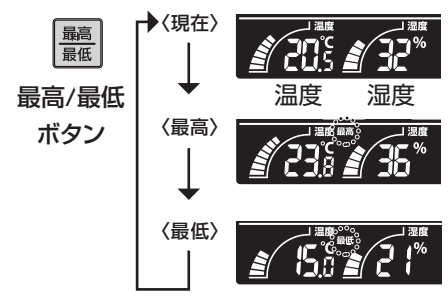
センサーが本体内部にあるため、表示に反映するまでには時間がかかります。

直射日光が当たる場所や冷暖房器具、加湿器、除湿器などの近くでは室内の温度・湿度を反映しにくくなります。空気がよく循環する場所に設置してください。

※湿度は「空気のかたまり」として移動するため、同じ室内でも風通しのよいところと悪いところでは違いがでてきます。また、設置する高さによっても温度・湿度が変わります。

※本製品は一般的な家庭やオフィスなどの室内用です。また、厳密な温度、湿度の管理や証明には使えません。

■ 温度・湿度の最高／最低表示



最高／最低ボタンを押すと24～25時間以内の**最高と最低の温度・湿度を表示します。**

○**最高／最低ボタンを押すたびに**温度と湿度の表示が、**最高→最低→現在の順で切り替わります。**放置すると約10秒で最高または最低の表示が消えて現在の温度・湿度表示になります。

○**電波の受信中、アラーム状態、アラーム時刻および現在時刻の設定中は切り替わりません。**

■測定範囲を超えたときの表示とその意味

温度「HH.H」50℃より高温　「LL.L」−9.9℃より低温

湿度「HH」95%を超えている　「LL」20%未満　「--」測定不能（温度が5~50℃の範囲外）

■注意報

注意報の種類

温度と湿度の状態により、4種類の<注意報>を表示します。

※表示により発生の有無を断定するものではありませんので、空調や体調管理などの目安としてお使いください。

※公的機関から発表される「注意」や「警報」とは一致しないことがあります。

ひとくちメモ

熱中症

高温環境下で、体内の水分や塩分などのバランスが崩れたり、体内の調整機能が破綻するなどして、発症する障害の総称です。気温、気流（風）、湿度、輻射熱の状態によっては、屋内外を問わず発生しやすくなります。こまめな水分補給、室温の調節、風通しをよくするなど体温の上昇を防ぐ必要があります。

食中毒

梅雨など高温多湿となると菌が増殖しやすくなります。

細菌による食中毒を予防する三大原則といわれているのは、

1. 菌を付けない（清潔にする）
2. 菌を増やさない（迅速に冷却、乾燥する）
3. 菌を加熱などで殺す

インフルエンザ

湿度が低いとインフルエンザウイルスの生存率を高めるとともに、鼻･喉･気管などにある粘膜の繊毛の働きを弱め、ウイルスによる感染が起こり易くなります。

室内の湿度を調節したり、マスクを着用するなどの対策が必要になります。

カビ･ダニ

一般にカビ･ダニ等は、室温20～30℃、湿度70%前後が最もその生育に適した温湿度条件だといわれています。増殖を抑えるために、風通しをよくして、湿気がこもらないようにする必要があります。

Ⓐ 電波受信機能のON/OFF操作

受信機能OFF（無効にして手動で時刻を合わせる）

リセットボタンを約1秒間隔で3回押してください。

○「ピー」と鳴ったらすぐに押してください。

○受信機能がOFFになると「ピー」と鳴りません。

○年月日と時刻は手動で合わせてください。

受信機能　ON（有効にして受信を開始する）

戻るボタンを押しながら、**リセットボタン**を押すと「ピー」と鳴って受信を開始します。その後に**戻るボタン**を離してください。

○定期的に受信して標準時刻に合わせます。

◎操作のタイミングによっては、ON/OFFが切り替わらないことがあります。このようなときには操作を繰り返してください。

◎**電波受信機能は、工場を出荷するときには有効（ON）になっています。**

Ⓑ 強制受信とリセット操作

強制受信ボタン

場所を移動したときなど電波の受信を試みたいときに使います。受信に失敗した場合でも日付･時刻表示を継続します。

●受信機能が無効のときは、機能しません。

●手動で時刻合わせをしているときやアラーム時刻を合わせているときは機能しません。

リセットボタン

電池を入れた直後や静電気などにより誤作動したときに押します。

リセット直後は、2010年1月1日午前12：00、アラーム時刻は午前６：００に初期化されます。

●受信機能が有効になっているときは、受信を開始します。